公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

令和７年度中央防衛セミナー Live 配信のお知らせ
Live 配信　11 月 18（火）13:00 ～ 16:00
（録画配信は 12 月 1 日（月）からの予定）
詳細は２次元コードから
隊友会ホームページ 中央防衛セミナー　YouTube ページ（Live は 11/18 13:00 ～目途）

隊友

令和７年11月15日
第859号　毎月１回・15日発行
発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電　話　03（5362）4871・FAX4876
購読料　１カ月 120 円（税込み送料別）、１カ月年 1,700 円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

隊友 web 版はホームページ右側の web 隊友紙から

隊友会　陸修偕行社　水交会　つばさ会

令和７年度政策提言書を４幕僚長に説明

岩﨑隊友会理事長、内田陸修偕行社専務理事、村川水交会専務理事、杉山つばさ会長は、10月27日、松永統幕副長（統幕長代理）、荒井陸幕長、八木海幕副長（海幕長代理）及び森田空幕副長に対し令和７年度政策提言書を説明した。

本年度の政策提言書は、①令和４年12月以降、いわゆる戦略３文書の策定により、防衛力の抜本的強化が図られ、その成果は顕著に現れていること、②昨年末には「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針」が策定され、自衛隊の人的課題に対しても大きな改善の一歩を踏み出したこと、③一方で、国際情勢は依然として不安定であり、引き続き権威主義国家の動向が懸念され、また、民主主義国家においても内向化や大衆迎合の動きが見られ、わが国の安全保障に影響を与える可能性があることを踏まえ、従前の重点項目の表記はせず、現実的かつ主体的な防衛力構築のための６項目を提言した。

冒頭、岩﨑理事長の挨拶、西担当執行役の説明に空幕長から「今回の提言については長短はありますが、検討して実現していきたいと思います」との発言があった。

（特別面に関連記事）

◇解説

隊友会は、「国民と自衛隊とのかけ橋」として、平成28年度から偕行社（現陸修偕行社）、水交会及びつばさ会が加わり４団体合同で作成し、より深く幅広い提言となっている。

令和７年度政策提言書の要約は、今月号の「政策提言書」を昭和47年から毎年、防衛省に提出するとともに国会議員や各界有識者などに送付している。

述べ、最後に「今まで10年間やられたことがおそらくいろいろなところに反映されていると認識しています。引き続き現職が言えないことの提言をよろしくお願いします」と発言、海幕副長は「海自としては今募集が厳しい状況なので、そのような観点で国民へ情報発信等よろしくお願いします」と挨拶した。

また、陸幕長は「今まで10年間やられたことがおそらくいろいろなところに反映されていると認識しています。引き続き現職が言えないことの提言をよろしくお願いします」と発言、海幕副長は「海自としては今募集が厳しい状況なので、そのような観点で国民へ情報発信等よろしくお願いします」と挨拶した。

例年、６月の定時総会に併せ全国執行役会議を開催しています。この会議は、本部執行役及び地域執行役が一堂に会し、隊友会の現状や課題について意見交換を行い、今後の充実・発展に資するものです。本年の議題は、「会勢の維持・拡大のための方策」及び「将来的な隊友会の在り方」でした。議題選定の背景には、会勢の縮小傾向が続くなかにあっても、将来にわたり「国民と自衛隊とのかけ橋」として、役割を果たし続けなければならないという強い思いが存在しています。

特に、「将来的な隊友会の在り方」では、「自衛隊諸業務等に対する協力・支援」に代表される公益事業を継続するための財務基盤をいかに維持するかについても議論を行いました。隊友会の財務構造を単純化すると、各県隊友会の公益事業等は、各県の会費収入と本部からの助成等で、隊友会本部の公益事業等は、収益事業による収益と寄付金等で支えられています。その収益事業は、情報提供事業、保険事業、職業紹介事業の三つですが、情報提供事業である「引越見積・援サービス」は、その利便性が隊員の可否を検討する、また、②については、「引越見積援サービス」並みの積支援サービスとすべく各種の働きかけを行う、ことになりました。

運用益を見込んだ運用の課題を克服して部外力活用の拡大・適正化が図られるものと期待しています。こうした重要施策に対する協力・支援が、同時に公益事業を継続するための財務基盤の安定化につながることで、隊員の活動理念に適うものと考えています。

その職業紹介事業の前提となる自衛隊におけるこの「総人件費改革」で本格的に開始され、令和４年策定の防衛力整備計画では、人員の最適化のため「既存部隊の見直しや民間委託等の部外力の活用を進める」と定め、令和６年には、陸幕に民間部外力を活用する環境が整いつつあるわけですが、隊友会の職業紹介事業をもって自衛隊の部外力活用を支援するためには、克服すべき課題が残っています。例えば、有事の業務継続を担保する制度がなく、部外力活用の対象が限定されること、契約形態が請負や人材派遣以外に非常勤隊員の場合もあること、単年度契約であり雇用の継続が不透明なこと、契約に当たり情報セキュリティや自衛隊の勤務経験等の条件付が難いこと等です。

自衛隊の限りある人的資源を第一線部隊等の優先度の高い分野に充てることが喫緊の課題であることから、早晩、前述の課題を克服して部外力活用推進班が設置され、こうして徐々に部外力を活用する環境が整備されていくものと期待しています。

発煙筒

役割を果たし続けるために

（理事　上尾秀樹）

中谷大臣御霊30柱を奉納

自衛隊殉職隊員追悼式　厳粛に挙行

令和７年度自衛隊殉職隊員追悼式が10月11日、防衛省慰霊碑地区で行われ、新たに祀られた御霊30柱（陸13柱、海10柱、空６柱、東北防衛局１柱）の殉職隊員の遺族をはじめ、石破内閣総理大臣、中谷防衛大臣、防衛省・自衛隊の高級幹部ら300名が参列し、警察予備隊創設以来の殉職隊員２千142柱（陸１千151柱、海513柱、空445柱、機関33柱）の御霊のご冥福を祈った。

中谷防衛大臣による献花（防衛省 SNS）

特別儀仗隊による捧げ銃

石破総理大臣と中谷防衛大臣の追悼の辞に続き、海自掃海艦「うくしま」の乗組員で昨年11月の火災事故で亡くなった古賀辰徳２海曹の母親が務めた。大学在学中に突然海上自衛隊への入隊を決めたご子息について「国防という崇高な任務に誇りをもって入隊した姿を今でも鮮明に覚えています」と語り、また、任務の都合上、なかなか実家に帰れない辰徳さんのエピソードも語られた。その後、陸自第302保安警務中隊による特別儀仗隊が捧げ銃、陸自中央音楽隊が「国の鎮め」を演奏する中、拝礼と３発の弔銃により追悼式は終了した。

東京都隊友会

令和７年度戦没者墓苑 秋季慰霊祭を支援

東京都隊友会（会長・湖崎隆）は、10月17日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で実施された公益財団法人千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催の令和７年度秋季慰霊祭を、会長ほか67名の会員により、参列者及び来賓等の受付、会場内の案内・誘導、式典進行の補佐、駐車場整理及び救護等の各業務を支援した。

今年度は終戦80年の節目の年であり、慰霊祭は、例年より規模を拡大して厳粛な中にも盛大に執り行われた。秋晴れの中、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の下、内閣総理大臣追悼の辞、皇族殿下拝礼・黙祷、献花と続き、参列者の焼香をもって終了した。

武官等の他、自衛隊からも統幕僚長・各幕僚長等の来賓を迎え、総勢約433名の参列者を得て実施された。

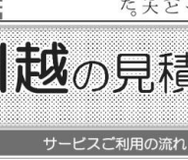
式は、陸上自衛隊中央音楽隊の演奏による国歌斉唱に始まり、自衛隊部隊による捧げ銃に合わせての黙祷、献花の儀、式辞、昭和天皇・皇后陸下御製奉誦及び舞踊、童謡・唱歌奉唱、内閣総理大臣追悼の辞、皇族殿下拝礼・黙祷、献花と続き、各界代表者の献花と続き、参列者をもって終了した。

東京都隊友会は、平成11年から毎年秋季慰霊祭を支援しており、今年度で27回目となる。

（事務局長・宮本忠明）

令和７年度自衛隊遺族会 役員等懇談会を開催

隊友会が事務局を担任する自衛隊遺族会の令和７年度役員等懇談会が10月10日グランドヒル市ヶ谷で「わかばと会」、「わだつみ会」及び「ともしび会」の各役員並びに防衛省人事教育局厚生課長（代理）福利厚生調整官、同人材育成課長、陸・海・空各幕僚監部厚生課長、統合幕僚監部人事教育課長及び隊友会理事等が参加し開催された。



挨拶する筑紫会長

新たに祀られる御霊30柱の殉職隊員のご冥福を祈り黙祷を捧げたのち、養輪阿喜子遺族会長は「殉職隊員遺族が心穏やかに過ごせるよう今後とも遺族に対するご協力ご支援をお願いします」と挨拶し、主要役員の紹介後の会食懇談では、和やかな雰囲気の中、役員と相談役との懇親を深め大変有意義な時間となった。

隊友会寄付者芳名

滋賀県特別会員
奥村　直広　様　５千円
（十月二十一日現在）

引越の見積は 隊友会へ!!

サービスご利用の流れ

① 申 込	ネット申込フォーム（またはFAX申込書）に記入して送信
② 見 積	・依頼会社からの連絡（電話、メール）で見積（下見）調整 ・依頼会社の見積（下見）に応対 ・依頼会社から見積書を受領（メール、文書）
③ 引 越	・契約する引越会社を決めて、契約の有無を会社に連絡 ・引越の実施、引越料金の支払い・領収書の受領
④ 請 求	退任先の会計担当部署に必要な請求書類を提出 （見積書、領収書、転居費精算機確認書、申立書、証明書類）

ネット申込みが便利です
・いつでもどこでも手軽です
・申込内容がメールで届きます
・引越会社に即日依頼されます
・メールでフォローを受けられます
申込みはこちら

利用者満足度※ 90.2%
※令和7年4月～7月申込者アンケート（回答者 501名）より

隊友会が選ばれるワケ
➢ 多数の引越会社からの電話で煩わしい思いをしない
➢ しつこい営業や関係ない商品のあっせんがない
➢ 引越会社から連絡がないときの対応や依頼会社の追加が簡単
➢ OBならではのアドバイスを受けられる など

プライベートの引越しや隊友会員、ご家族も利用できます

引越しは日通　ハート引越センター　離島引越し便　※対応地域に注意してください。
株式会社サカイ引越センター　アリさんマークの引越社　アート引越センター　三八五引越センター

お問い合せ
公益社団法人 隊友会
電　話　080-6248-0298
080-6842-8746
メール　jigyou@taiyukai.or.jp

防衛省職員および定年退職者の皆様へ

防衛省団体扱 火災保険のご案内
トータルアシスト住まいの保険 ―火災保険・地震保険―
団体扱 長期年払

例えば 東京都の官舎なら
M構造(マンション構造) 60㎡ 平成22年6月築

保険金額(支払限度額)
家財300万円まで（破損等50万円まで 高額貴金属等100万円まで）
特約 臨時費用補償・類焼損害補償（1事故1億円まで）＋ 地震150万円まで

補償内容（火災金額※3参照）
火災・風災 0円
盗難・水漏れ等・破損等 -5万円
＋ 借家人賠償責任・修理費用補償（1事故1,000万円まで※2）

風水害でもお支払い

令和7年3月20日～2年間で 年/9,190円

※被保険者が住まわれる方又はその家族が、被保険者宛の郵便物等(保険契約を含む)に「契約者」であるときは、補償が適用されることがあります。
※1 割引率15%は、以下の通り、大口団体(長期分)等を適用して算出しております。
分割払の場合：1－{(1－大口団体長期分・10%)×(1－長期契約分割割増分・4%)}
一括払の場合：1－{(1－大口団体長期分・10%)×(1－団体扱一括払割引分・5%)}
大口団体長期分10%は、2025年3月1日～2026年2月28日までに保険期間の始期日とする契約に適用され、団体の契約件数により毎年見直されます。 以上の割引率は、保険期間が1年の場合に限ります。
※2 賠償責任・修理費用の家財等1次分は免責金額(自己負担額)が3万円となります。

防衛省OBで、損害保険会社経験者の社員が真摯にご相談に対応します!!

お問い合わせ・取扱代理店
株式会社 タイユウ サービス
専用ページ
〒162-0845 新宿区市谷柳町39-20 新盛堂ビル7階
フリーダイヤル 0120-600-230
受付時間 平日 9:00～16:30
TEL 03-3266-0679
FAX 03-3266-1983

一般契約に比べて 約15%※1 割安!!

引受保険会社
東京海上日動火災保険株式会社
担当課
公務第一部公務第二課 TEL 03-3515-4124
団体扱の対象となる範囲(契約者・被保険者)や、団体扱料約支払時の取扱については、取扱現代理店までご連絡ください。
2025年2月作成　24TX-005B2